

長崎県内の大腸がん検診の実績について

2025.1.24

長崎県保健医療対策協議会
がん対策部会大腸がん委員会

●実績データについて

厚生労働省(令和6年3月公表)

「令和4年度 地域保健・健康増進事業報告」より集計

プロセス指標	参照年度(最新)
受診率	令和4年度
要精検率 精検受診率 陽性反応適中度 がん発見率	令和3年度

※「地域保健・健康増進事業報告」は、地域(市区町村)で実施された事業報告のため、職域で実施された検診(人間ドック含む)は含まない。

※集計年齢は、公表値に準じて「40～69歳」とする。

ただし、長崎県内では70歳以上の受診者数が多いため、一部参照データとして示す。

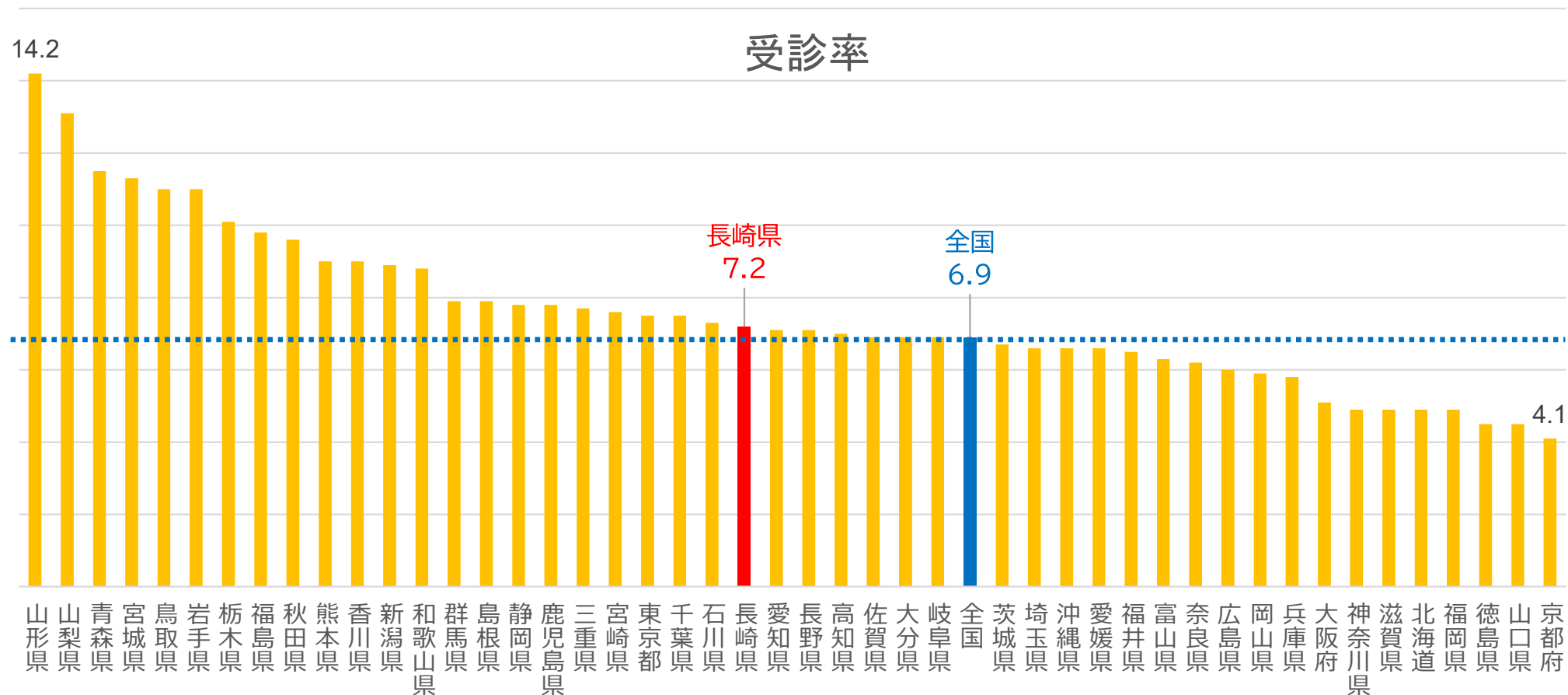
◆地域保健・健康増進事業報告の流れ



▶ 1.大腸がん検診受診率の状況

1) 全国順位

地域保健・健康増進事業報告(厚労省)公表値によると、
令和4年度(長崎県)は7.2%で、全国平均6.9%を上回り、全国23位。



2)受診率の年次推移(全国、長崎県)

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全国	19.0	19.2	13.8	8.8	8.4	8.1	8.0	6.5	7.0	6.9
長崎	18.5	18.3	16.2	7.7	7.7	7.6	7.5	6.2	7.1	7.2

算出年齢：

40～69歳
(～H24まで「40歳以上」)

対象者：

「就業者数」を除外しない

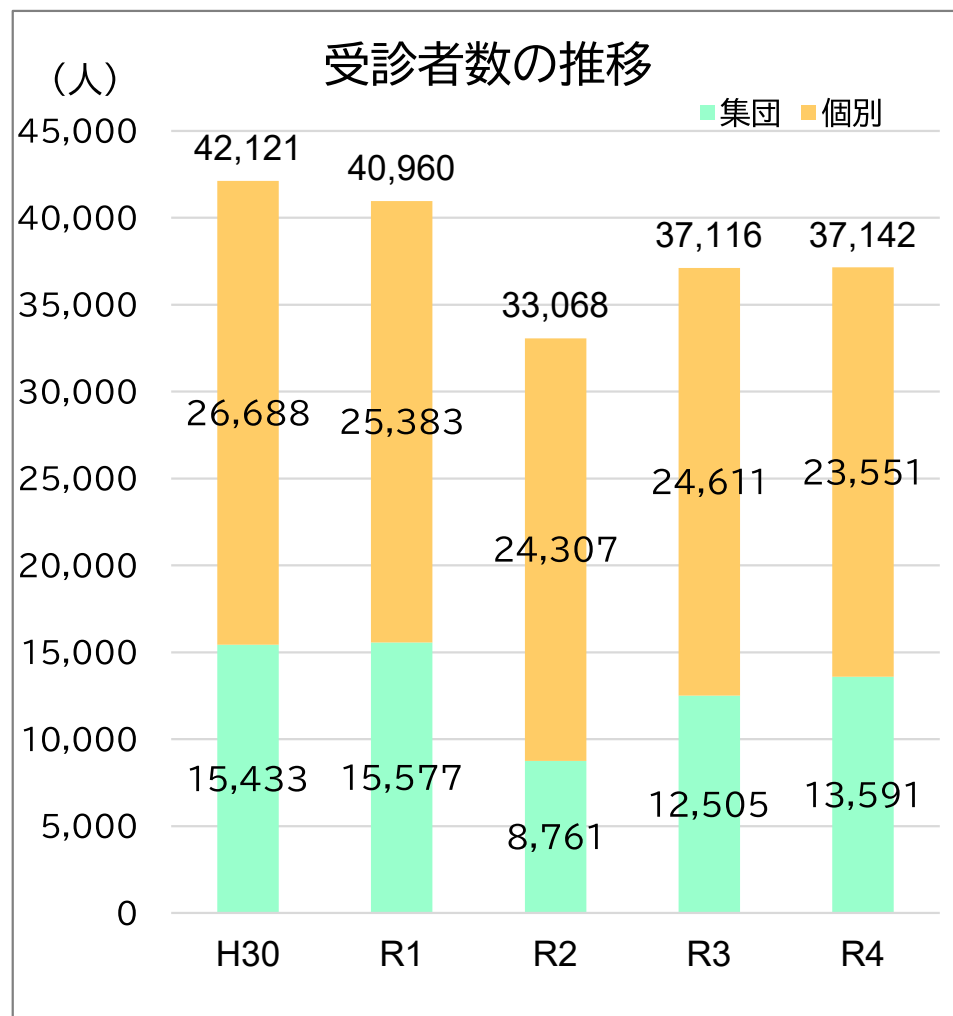
※算出年齢、対象者の計上方法が年度によって変更されているので、H27年度以前の経年的な比較はできない。

※受診率が比較可能なH28以降で比較すると、全国・長崎ともに年々低下している。
R2は特に減少したが、R3・R4は増加傾向である。

▶2. 大腸がん検診受診者数と受診率 (40～69歳)

1) 受診者数の推移

- ▶ 受診者数は年々減少している。個別検診が半数以上を占める。
R2年度に大きく減少(特に集団検診)し、R3年度は増加したがR4年度は横ばいである。



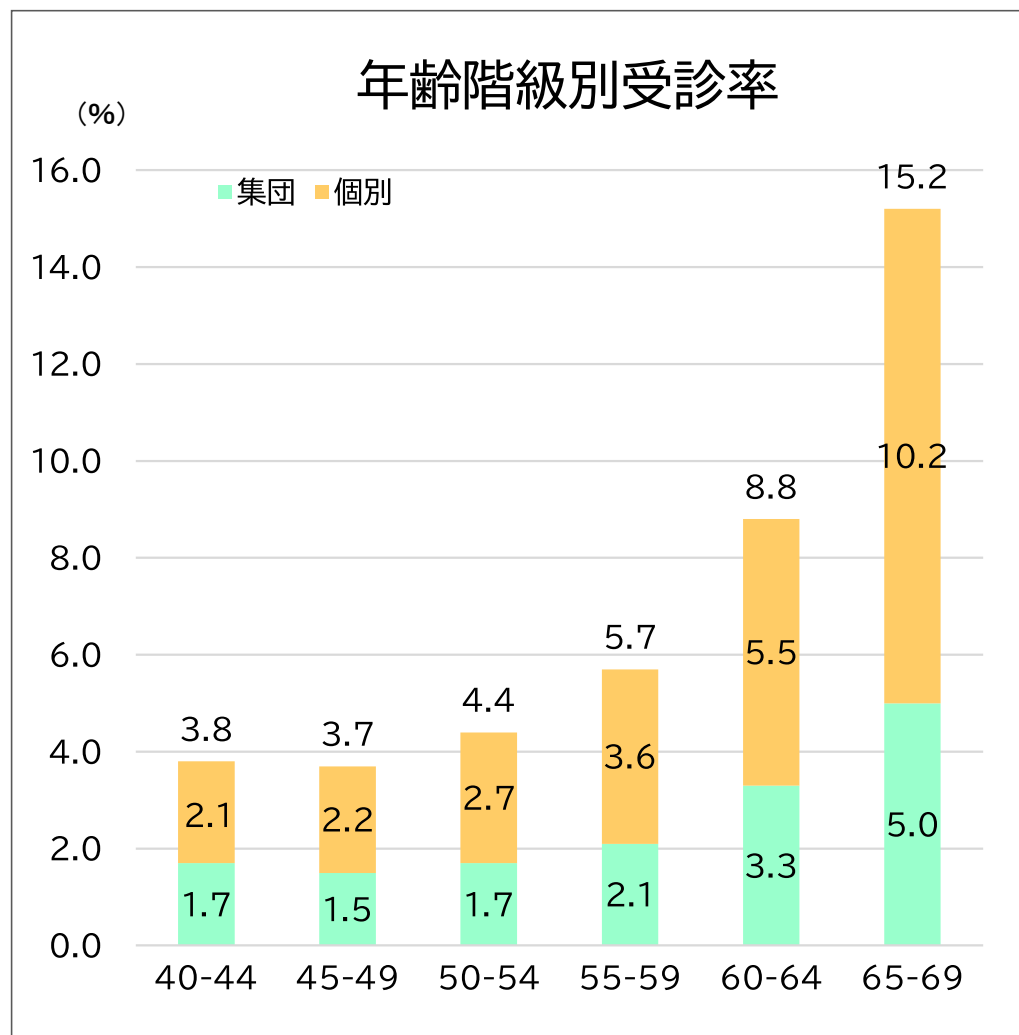
(40-69歳)		H30	R1	R2	R3	R4
集団	男	5,726	5,765	3,190	4,419	4,732
	女	9,707	9,812	5,571	8,086	8,859
	計	15,433	15,577	8,761	12,505	13,591
個別	男	9,472	9,115	8,663	8,803	8,405
	女	17,216	16,268	15,644	15,808	15,146
	計	26,688	25,383	24,307	24,611	23,551
合計	男	15,198	14,880	11,853	13,222	13,137
	女	26,923	26,080	21,215	23,894	24,005
	計	42,121	40,960	33,068	37,116	37,142

【参考】

全年齢	79,972	80,580	67,679	75,553	77,707
-----	--------	--------	--------	--------	--------

2)令和4年度年齢階級別受診率

▶ 受診率は、年齢階級が上がるにつれ、集団・個別ともに高くなる傾向がみられる。



年齢階級	区分	対象者数	受診者数	受診率
40-44	集団	74,407	1,301	1.7
	個別		1,527	2.1
	計		2,828	3.8
45-49	集団	85,152	1,310	1.5
	個別		1,877	2.2
	計		3,187	3.7
50-54	集団	86,005	1,478	1.7
	個別		2,323	2.7
	計		3,801	4.4
55-59	集団	81,711	1,723	2.1
	個別		2,914	3.6
	計		4,637	5.7
60-64	集団	89,543	2,935	3.3
	個別		4,694	5.5
	計		7,889	8.8
65-69	集団	97,591	4,844	5.0
	個別		9,956	10.2
	計		14,800	15.2

地域保健・健康増進報告(厚労省)

▶ 3.令和3年度大腸がん検診成績（40～69歳）

1)令和3年度大腸がん検診成績

					精 検 受 診						精 検 結 果 別 人 数									陽性反応適中度	がん発見率	早期がん割合	粘膜内がん割合
区分	性別	受診者数	要精検者数	要精検率	あり	精検受診率	なし	精検未受診率	未把握	精検未把握率	異常なし	がん	早期がん	粘膜内がん	がん疑い及び未確定	腺腫のあった者	10mm以上	10mm未満	がん以外の疾患				
		A	B	B/A	C	C/B	D	D/B	E	E/B	F	G	H	I	J	K	L	M	N	G/B	G/A	H/G	I/G
集団	男	4,421	322	7.3	218	67.7	43	13.4	61	18.9	36	8	4	3	4	121	40	65	49	2.48	0.18	50.0	37.5
	女	8,090	397	4.9	293	73.8	51	12.8	53	13.4	94	15	10	8	5	112	23	83	67	3.78	0.19	66.7	53.3
	計	12,511	719	5.7	511	71.1	94	13.1	114	15.9	130	23	14	11	9	233	63	148	116	3.20	0.18	60.9	47.8
個別	男	8,804	956	10.9	673	70.4	174	18.2	109	11.4	130	43	24	12	9	337	69	237	154	4.50	0.49	55.8	27.9
	女	15,805	1,133	7.2	819	72.3	181	16.0	133	11.7	309	25	13	6	3	277	52	207	205	2.21	0.16	52.0	24.0
	計	24,609	2,089	8.5	1,492	71.4	355	17.0	242	11.6	439	68	37	18	12	614	121	444	359	3.26	0.28	54.4	26.5
合計	男	13,225	1,278	9.7	891	69.7	217	17.0	170	13.3	166	51	28	15	13	458	109	302	203	3.99	0.39	54.9	29.4
	女	23,895	1,530	6.4	1,112	72.7	232	15.2	186	12.2	403	40	23	14	8	389	75	290	272	2.61	0.17	57.5	35.0
	計	37,120	2,808	7.6	2,003	71.3	449	16.0	356	12.7	569	91	51	29	21	847	184	592	475	3.24	0.25	56.0	31.9

【参考】

70歳以上	男	15,942	2,056	12.9	1,474	71.7	389	18.9	193	9.4	283	73	30	18	14	752	111	570	352	3.55	0.46	41.1	24.7
	女	22,498	2,075	9.2	1,518	73.2	392	18.9	165	8.0	398	63	34	18	17	582	89	444	458	3.04	0.28	54.0	28.6
	計	38,440	4,131	10.7	2,992	72.4	781	18.9	358	8.7	681	136	64	36	31	1,334	200	1,014	810	3.29	0.35	47.1	26.5

* 70歳以上の受診者数では136人の大腸がんが発見されている。

地域保健・健康増進報告(厚労省)

2)令和3年度大腸がん検診成績(40～69歳)(初回受診者)(再掲)

区分	性別	受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精 検 受 診						精 検 結 果 別 人 数									陽性反応適中度 G/B	がん発見率 G/A	早期がん割合 H/G	粘膜内がん割合 I/G
					あり C	精検受診率 C/B	なし D	精検未受診率 D/B	未把握 E	精検未把握率 E/B	異常なし F	がん G	早期がん H	粘膜内がん I	がん疑い及び 未確定 J	腺腫のあった者 K	10mm以上 L	10mm未満 M	がん以外の疾患 N				
集団	男	1,430	127	8.9	79	62.2	15	11.8	33	26.0	10	3	1	1	2	48	19	21	16	2.36	0.21	33.3	33.3
	女	2,387	133	5.6	98	73.7	13	9.8	22	16.5	30	10	7	5	2	36	8	25	20	7.52	0.42	70.0	50.0
	計	3,817	260	6.8	177	68.1	28	10.8	55	21.2	40	13	8	6	4	84	27	46	36	5.00	0.34	61.5	46.2
個別	男	2,888	388	13.4	268	69.1	70	18.0	50	12.9	42	24	13	7	5	149	34	100	48	6.19	0.83	54.2	29.2
	女	4,564	390	8.5	280	71.8	56	14.4	54	13.8	88	11	4	3	0	116	34	74	65	2.82	0.24	36.4	27.3
	計	7,452	778	10.4	548	70.4	126	16.2	104	13.4	130	35	17	10	5	265	68	174	113	4.50	0.47	48.6	28.6
合計	男	4,318	515	11.9	347	67.4	85	16.5	83	16.1	52	27	14	8	7	197	53	121	64	5.24	0.63	51.9	29.6
	女	6,951	523	7.5	378	72.3	69	13.2	76	14.5	118	21	11	8	2	152	42	99	85	4.02	0.30	52.4	38.1
	計	11,269	1,038	9.2	725	69.8	154	14.8	159	15.3	170	48	25	16	9	349	95	220	149	4.62	0.43	52.1	33.3

【参考】

70歳以上	男	2,734	505	18.5	366	72.5	84	16.6	55	10.9	43	42	16	8	8	198	45	134	75	8.32	1.54	38.1	19.0
	女	3,681	459	12.5	337	73.4	78	17.0	44	9.6	69	33	15	8	4	139	31	98	92	7.19	0.90	45.5	24.2
	計	6,415	964	15.0	703	72.9	162	16.8	99	10.3	112	75	31	16	12	337	76	232	167	7.78	1.17	41.3	21.3

* 70歳以上の受診者数では75人の大腸がんが発見されている。

3)令和3年度大腸がん検診成績(年齢階級別)

年齢階級	受診者数	要精検者数	要精検率	精 検 受 診						精 検 結 果 別 人 数									陽性反応適中度	がん発見率	早期がん割合	粘膜内がん割合
				あり	精検受診率	なし	精検未受診率	未把握	精検未把握率	異常なし	がん	早期がん	粘膜内がん	がん疑い及び未確定	腺腫のあった者	10mm以上	10mm未満	がん以外の疾患				
	A	B	B/A	C	C/B	D	D/B	E	E/B	F	G	H	I	J	K	L	M	N	G/B	G/A	H/G	I/G
40-44	2,907	198	6.8	124	62.6	31	15.7	43	21.7	59	2	1	0	2	37	8	27	24	1.01	0.07	50.0	0.0
45-49	3,221	199	6.2	124	62.3	36	18.1	39	19.6	49	1	1	1	0	43	6	33	31	0.50	0.03	100.0	100.0
50-54	3,662	238	6.5	153	64.3	43	18.1	42	17.6	54	6	4	3	3	51	10	37	39	2.52	0.16	66.7	50.0
55-59	4,450	289	6.5	208	72.0	38	13.1	43	14.9	62	9	4	3	0	88	24	55	49	3.11	0.20	44.4	33.3
60-64	7,800	585	7.5	440	75.2	92	15.7	53	9.1	121	18	10	6	7	168	41	117	126	3.08	0.23	55.6	33.3
65-69	15,080	1,299	8.6	954	73.4	209	16.1	136	10.5	224	55	31	16	9	460	95	323	206	4.23	0.36	56.4	29.1
合計	37,120	2,808	7.6	2,003	71.3	449	16.0	356	12.7	569	91	51	29	21	847	184	592	475	3.24	0.25	56.0	31.9

【参考】

70歳以上	38,440	4,131	10.7	2,992	72.4	781	18.9	358	8.7	681	136	64	36	31	1,334	200	1,014	810	3.29	0.35	47.1	26.5
-------	--------	-------	------	-------	------	-----	------	-----	-----	-----	-----	----	----	----	-------	-----	-------	-----	------	------	------	------

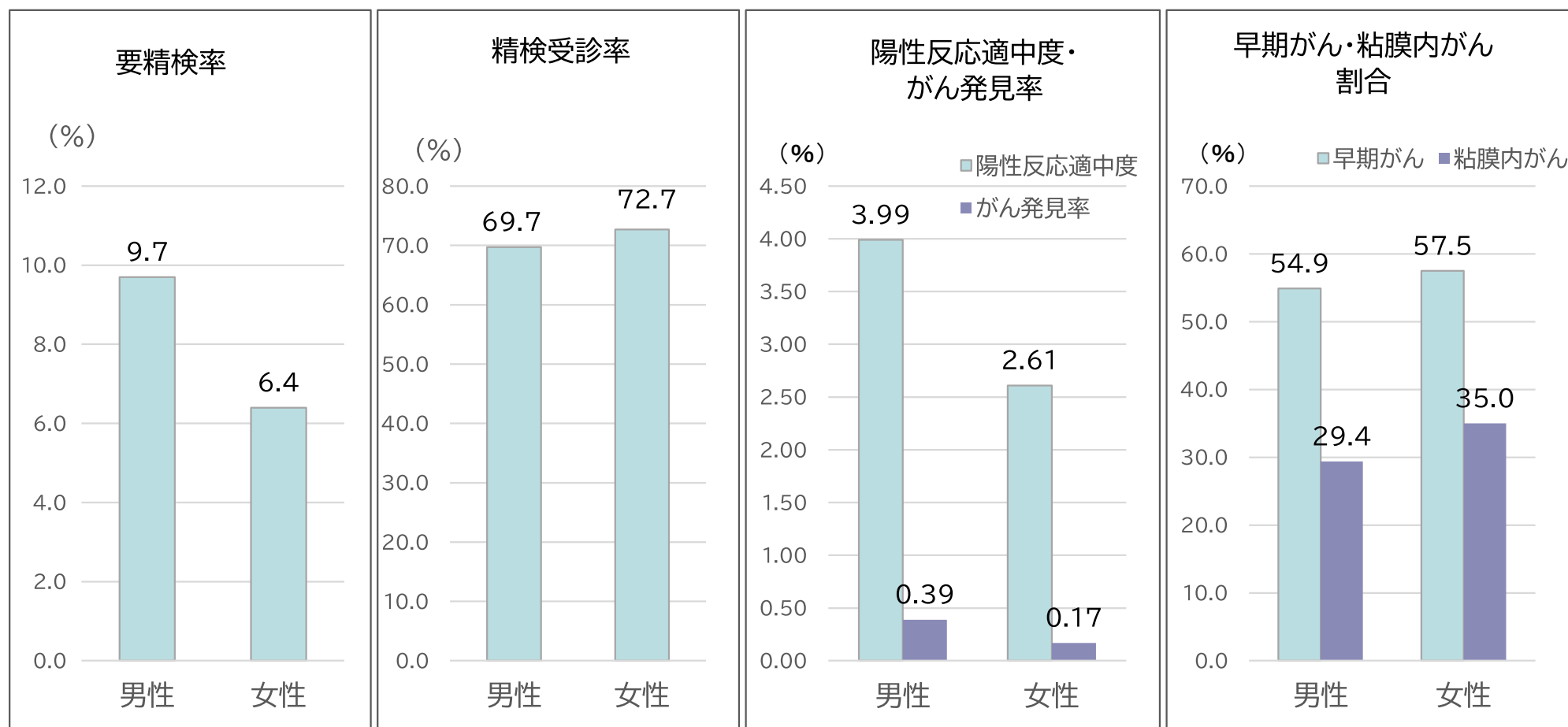
* 70歳以上の受診者数では136人の大腸がんが発見されている。

4) プロセス指標の男女別の比較

▶ 要精検率は、女性より男性が高かった。

精検受診率は、男性より女性がやや高かった。

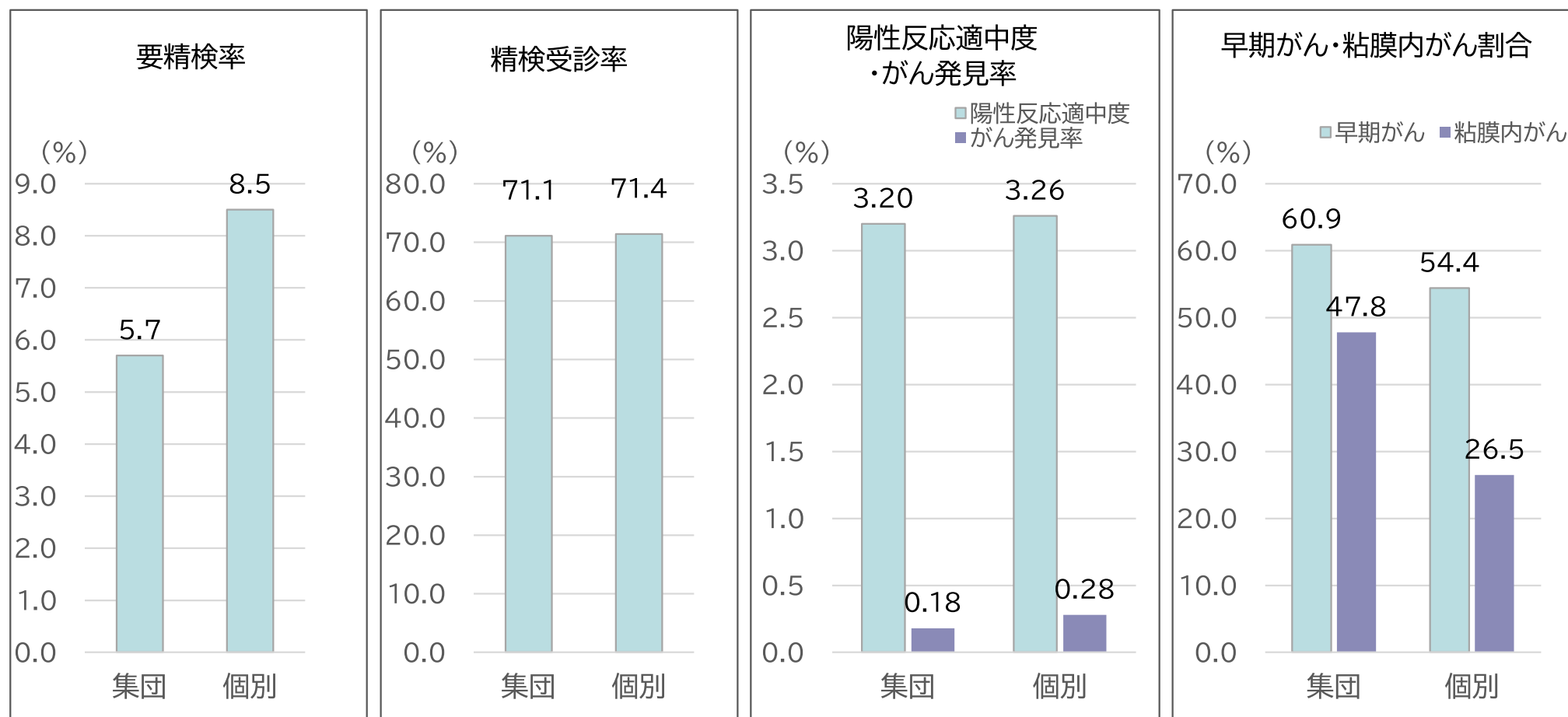
陽性反応適中度・がん発見率は、いずれも女性より男性が高かった。



5) プロセス指標の検診形態別(集団・個別)の比較

▶ 要精検率は、集団より個別が高かった。

発見がんに占める早期がん・粘膜内がんの割合は、個別より集団が高かった。



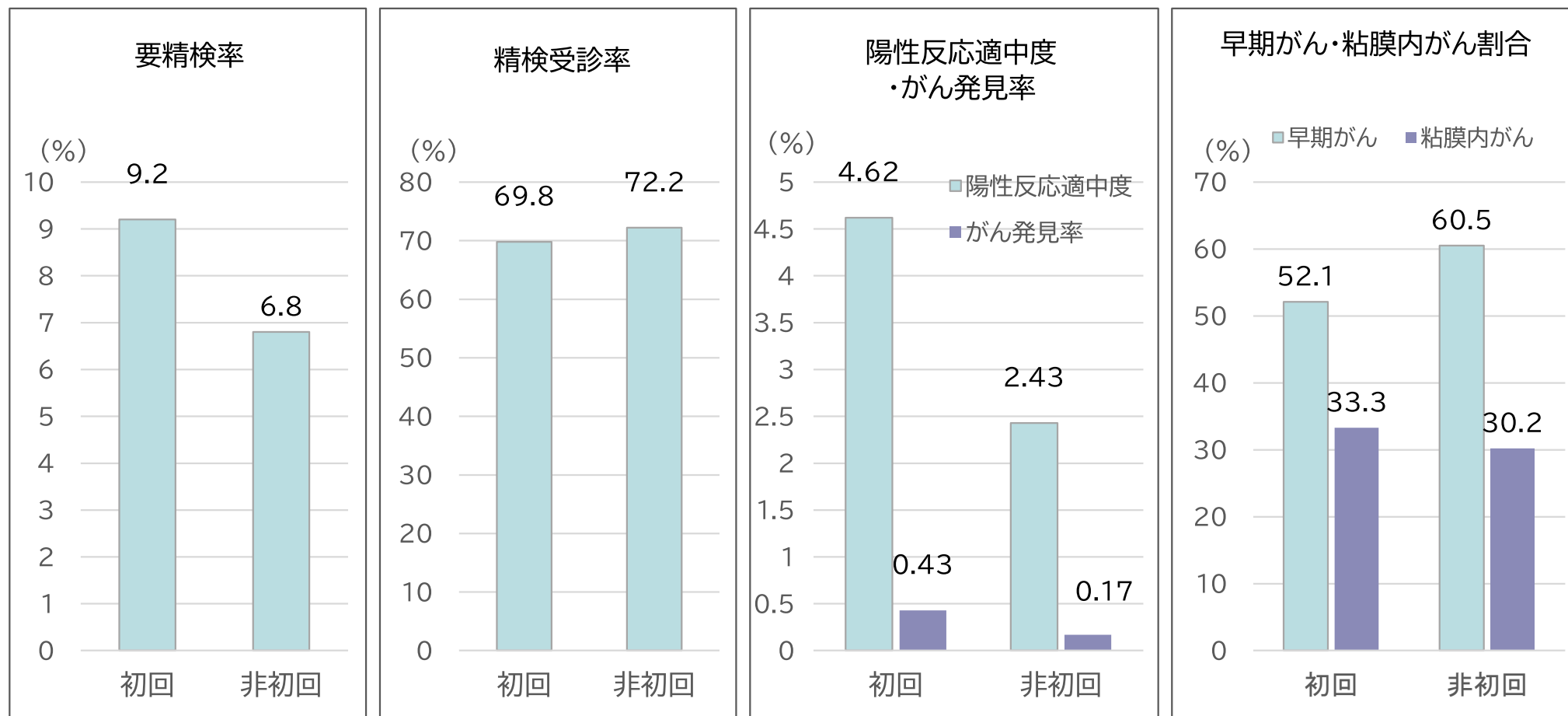
6) プロセス指標の受診歴別の比較

初回受診者：過去3年間(H30・R1・R2)に
受診歴のない者

▶ 要精検率は、非初回より初回が高かった。

陽性反応適中度・がん発見率は、非初回より初回が高かった。

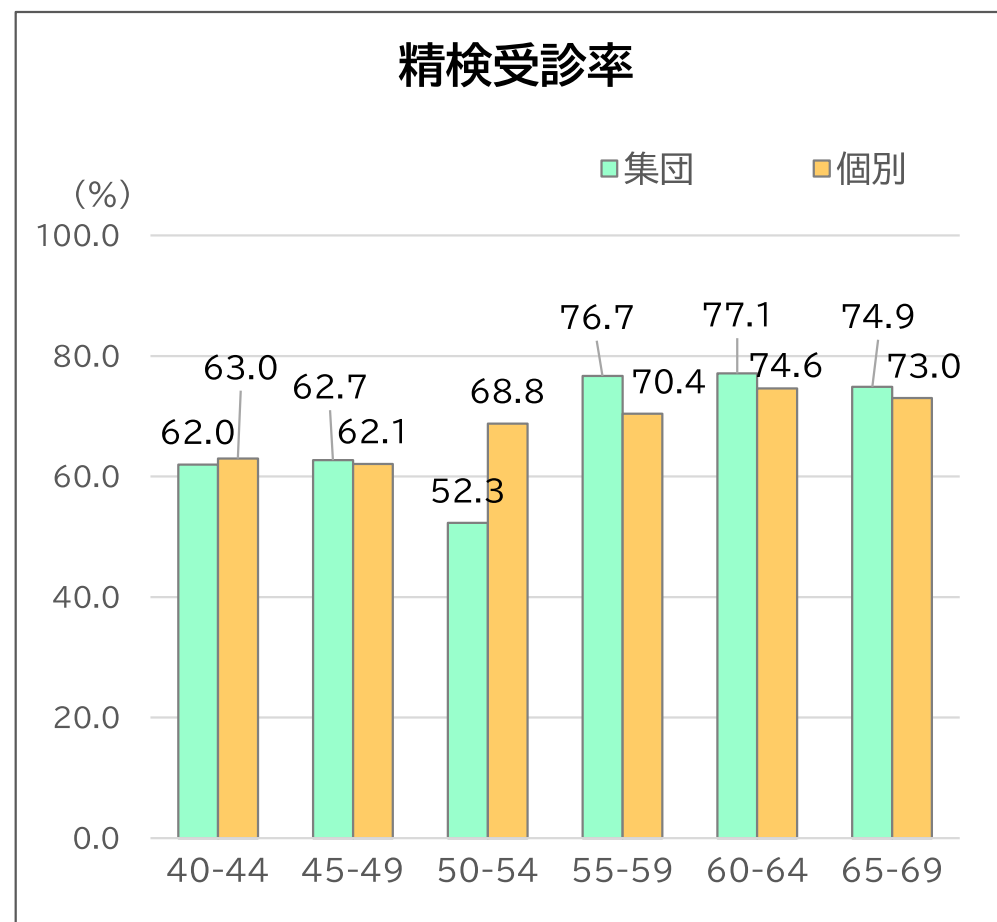
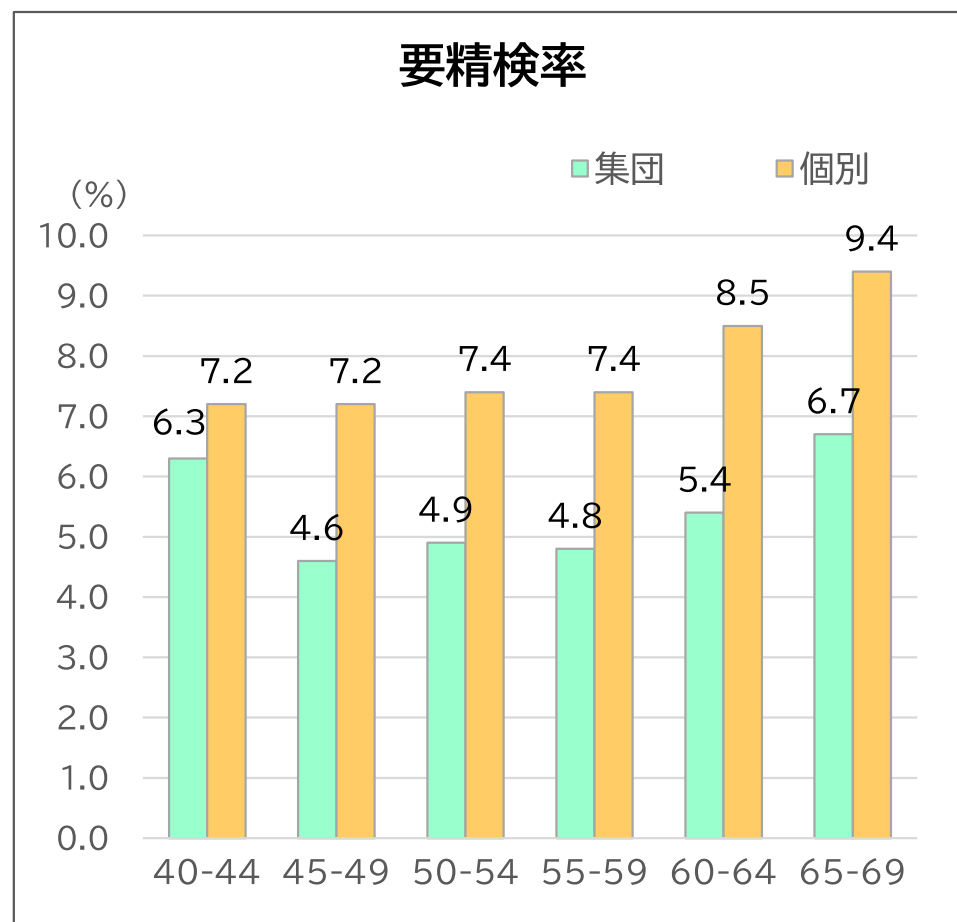
発見がんにおける早期がん割合は、初回より非初回が高かった。



7) 年齢階級別の比較

▶ 要精検率は、どの年代でも個別検診のほうが高かった。

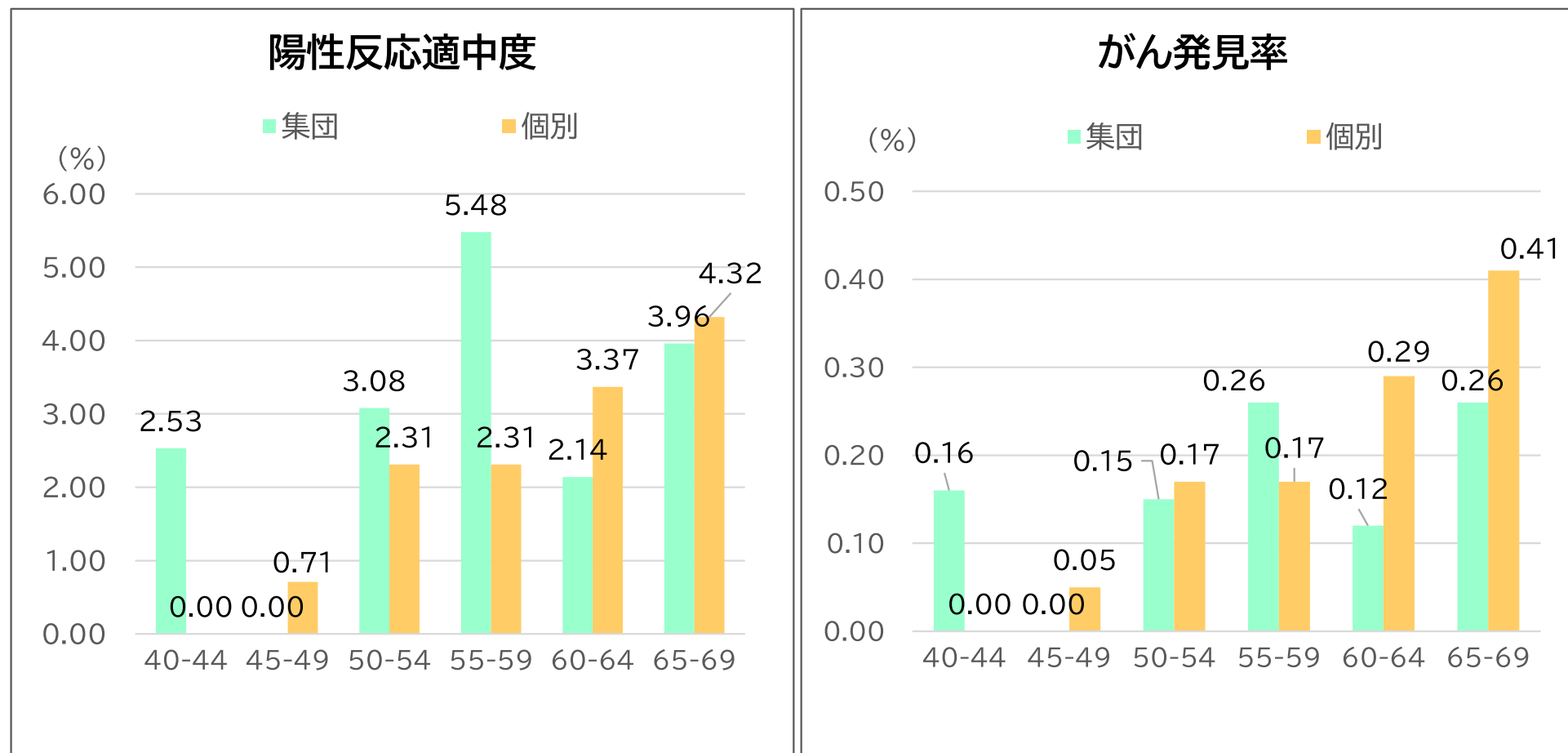
精検受診率は、どの年代も低く、特に40-44歳・45-49歳・50-54歳では70%未満であった。



地域保健・健康増進報告(厚労省)

▶ 陽性反応適中度・がん発見率は、ばらつきがあった。

個別検診では、年齢階級が上がるほど高くなる傾向があった。



▶ 4.国の示す基準値

平成20年に設定
令和5年6月(改訂)により新基準値へ変更

	胃がん (エックス線)		大腸がん	肺がん (1年間隔)		乳がん (2年間隔)		子宮頸がん		
	2 年間隔	1 年間隔		検診以外 の受診を 考慮		連続受診 を考慮				
対象年齢	50-69歳		40-69歳	40-69歳		40-69歳		20-69歳	20-39歳	40-69歳
算出に用いた感度*	60%以上		60%以上	50%以上		40歳代：60%以上 50歳代：70%以上 60歳以上：80%以上		65%以上		
要精検率	7.1%以下	7.0%以下	6.2%以下	2.0%以下	2.0%以下	6.8%以下	6.8%以下	2.7%以下	4.2%以下	2.0%以下
現在の 許容値	11.0%以下		7.0%以下	3.0%以下		11.0%以下		1.4%以下		
精検受診率	90%以上									
がん発見率*	0.13%以上	0.08%以上	0.16%以上	0.06%以上	0.03%以上	0.38%以上	0.29%以上	0.16%以上	0.18%以上	0.15%以上
現在の 許容値	0.11%以上		0.13%以上	0.03%以上		0.23%以上		0.05%以上		
陽性反応適中度*	1.9%以上	1.1%以上	2.6%以上	3.0%以上	1.6%以上	5.5%以上	4.3%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.4%以上
現在の 許容値	1.0%以上		0.19%以上	1.3%以上		2.5%以上		4.0%以上		
非初回受診者の 2年連続受診者割合**						30%		40%		

大腸がんの指標

大腸がんの指標

* 子宮頸がんはCIN3以上に対する値

** 国民生活基礎調査から算出したおよその現状の値

5.精度管理(プロセス指標)の意味と解釈

1) 令和4年度 市町別受診率

●受診者数／対象者数

●目的:がん検診の対象者のうち、実際の受診者の割合。受診率は高いことが望ましい。

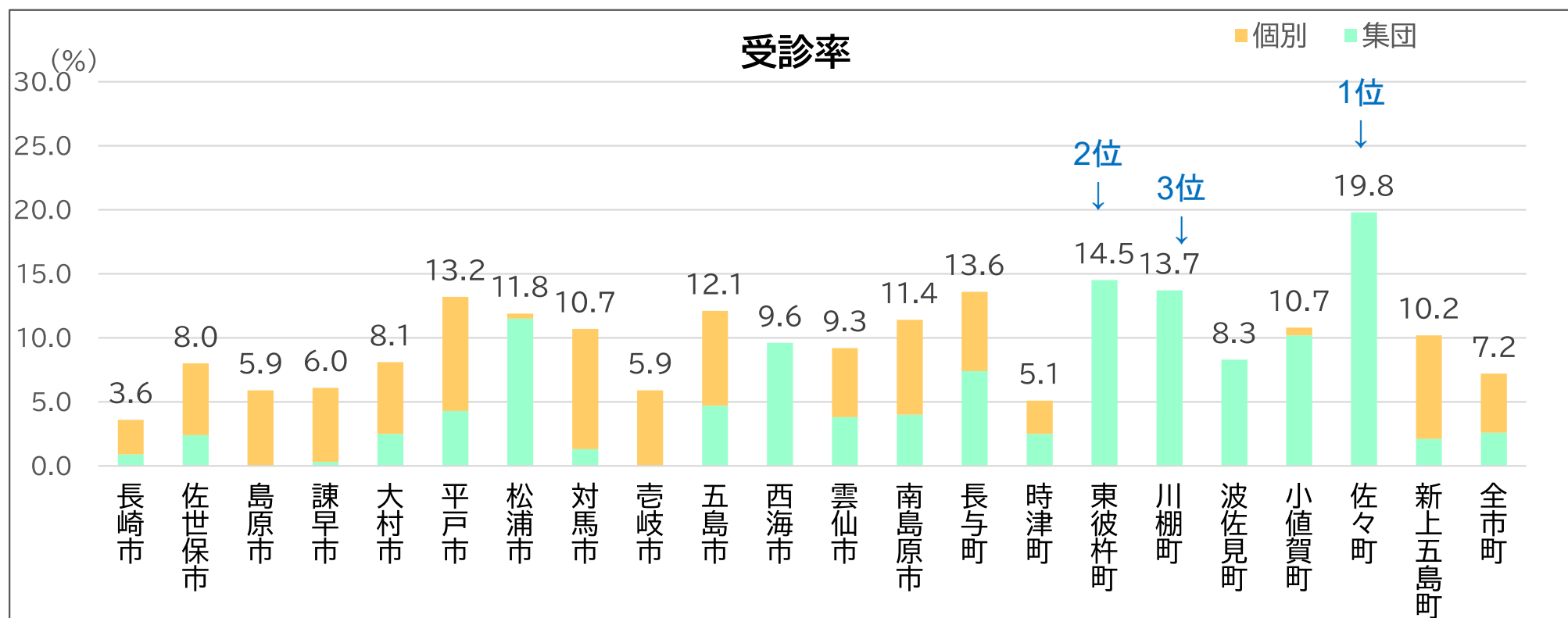
●低い場合に考えられる原因
受診勧奨が不十分

市町が地域のがん検診として実施した分のみ計上。

職域における受診者数は含まれていないことから、単純に比較することはできない。

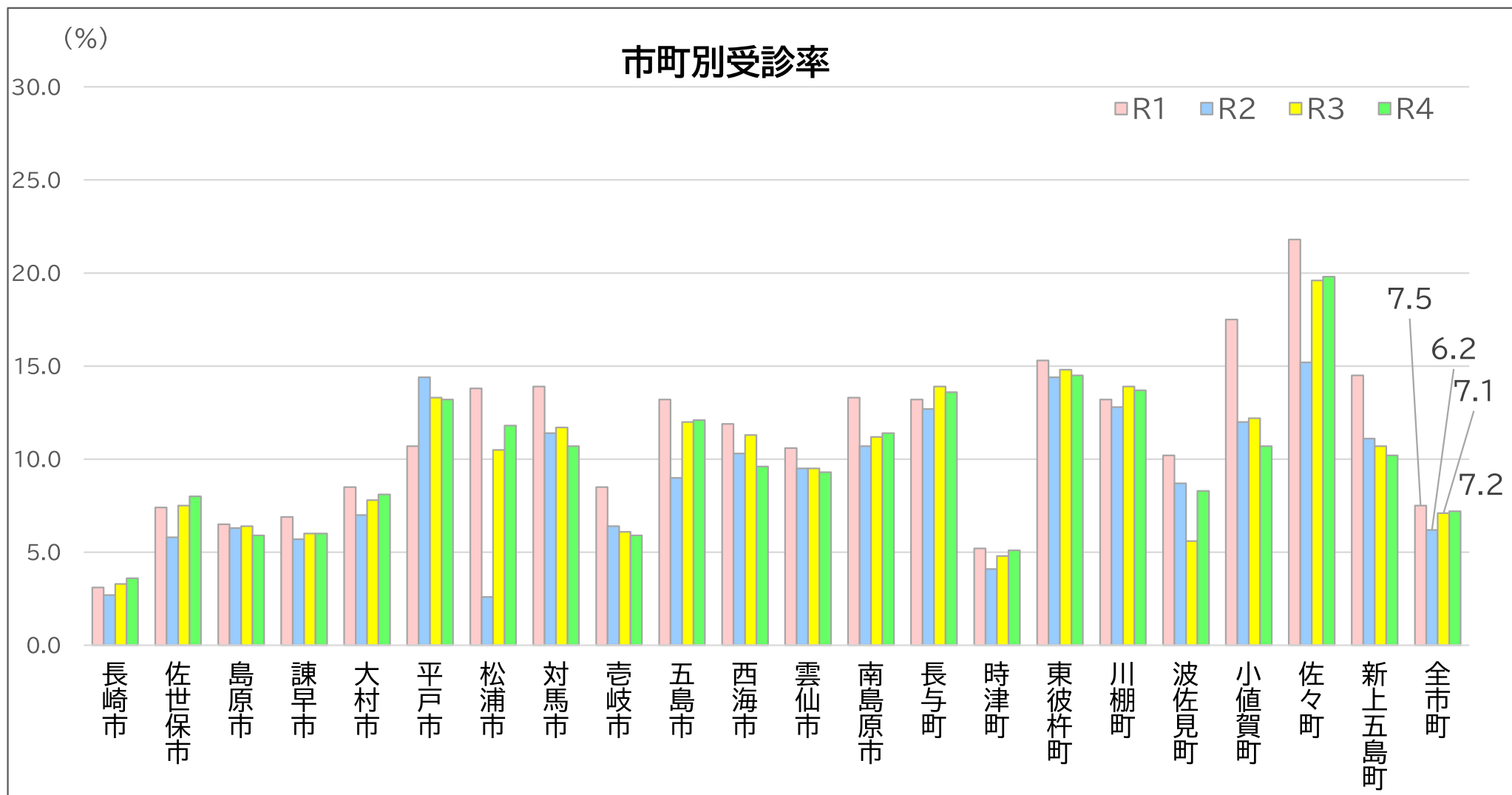
・市町は全体的に低く、最も高い市町で19.8%、最も低い市町で3.6%であった。

県全体では、7.2%であった。



2) 年度別市町別受診率

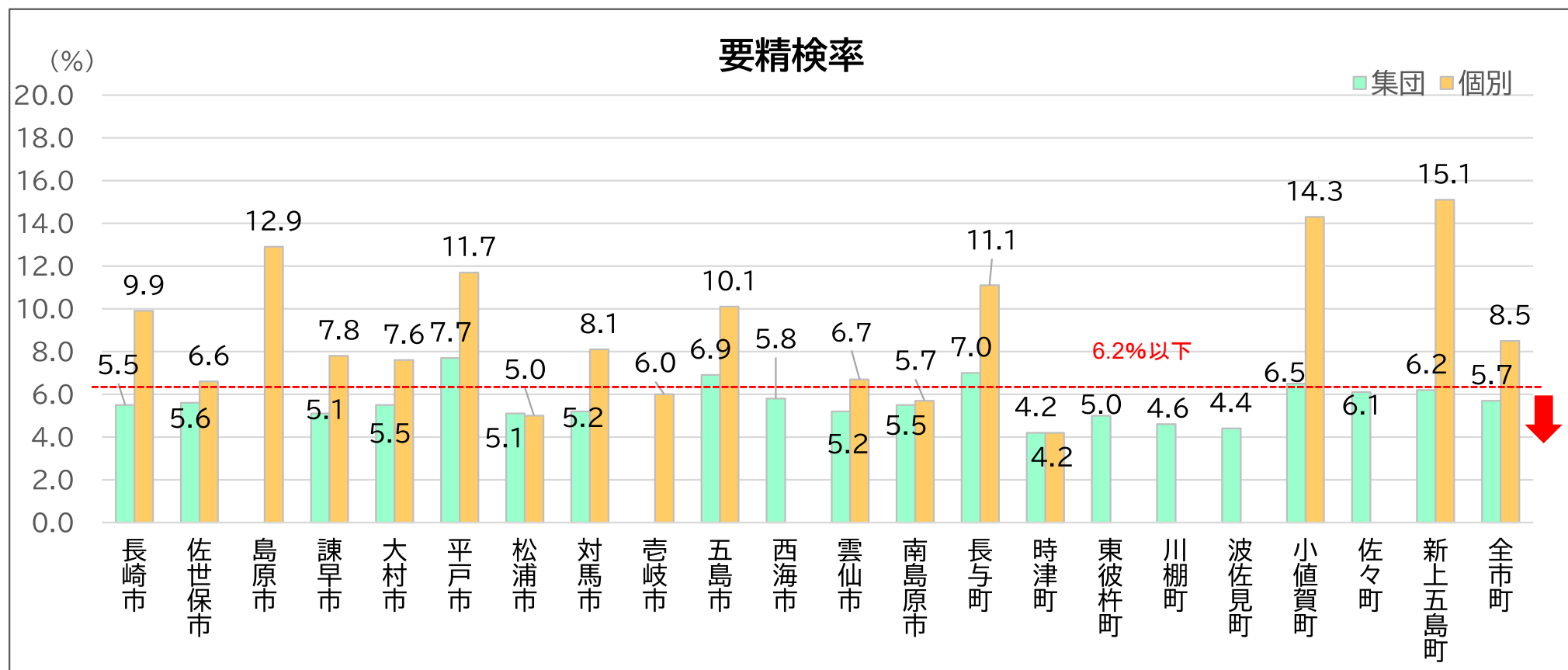
- R4が前年度より増加している市町:長崎市・佐世保市・大村市・松浦市・五島市・南島原市・時津町・波佐見町・佐々町
- 4年連続増加している市町:なし
- 4年連続減少している市町:壱岐市・新上五島町



3) 令和3年度要精検率

- 要精検者数／検診受診者数
- 目的:精密検査の対象者が適切に選ばれているか
- 基準値: **6.2%以下**〔40-69歳〕
- 高い場合考えられる原因
要精検者の計上は適切か。
有症状者が、がん検診を受診していないか。

- ・市町は検診形態でばらつきがあり、個別が高い傾向にある。
- ・県全体として、集団は基準値を満たしているが、個別は基準値を満たしていない。



4) 令和3年度精検受診率

●精検受診者数／要精検者数

●目的：要精検者が精密検査を受診したか
高いほど良い。(精検受診率が100%近くなければ、
発見率を正しく評価できない)

●基準値：90%以上〔40-69歳〕

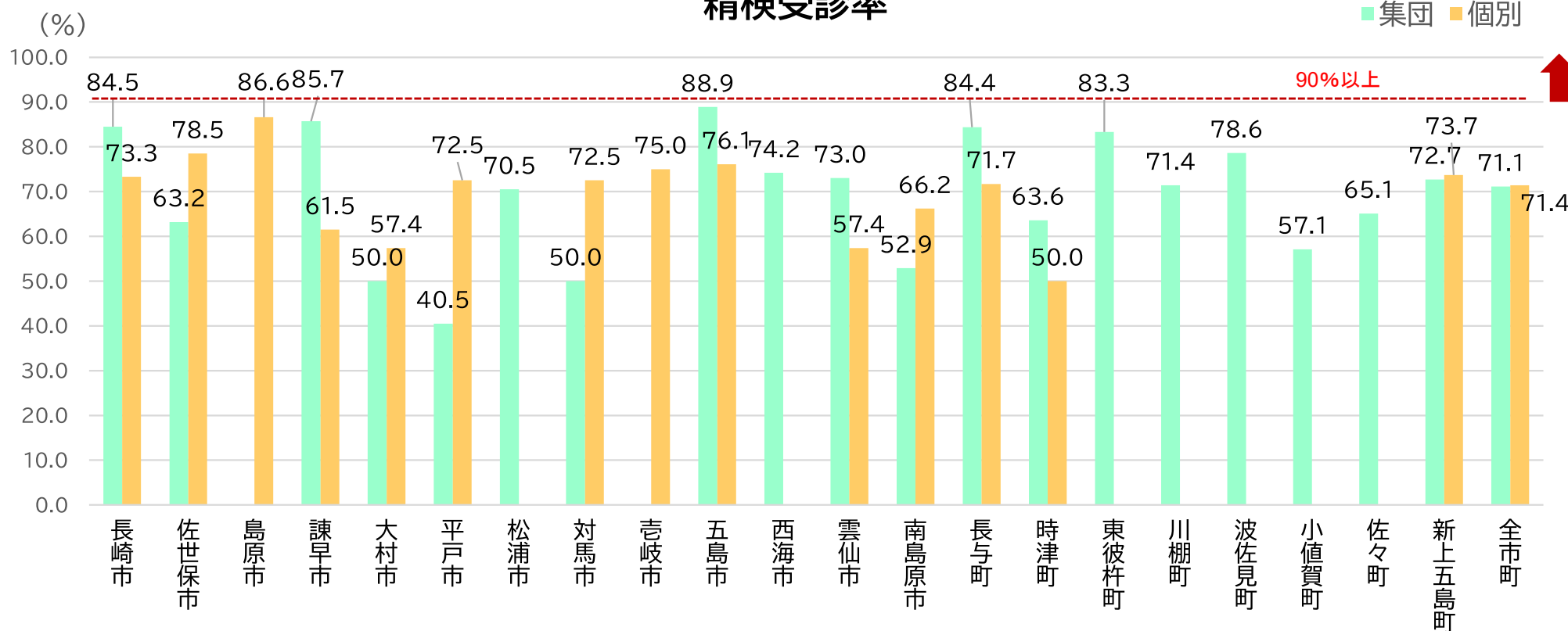
●低い場合に考えられる原因

精検の受診勧奨が不十分。

精検受診の有無を市町が確実に把握できる体制が不十分。

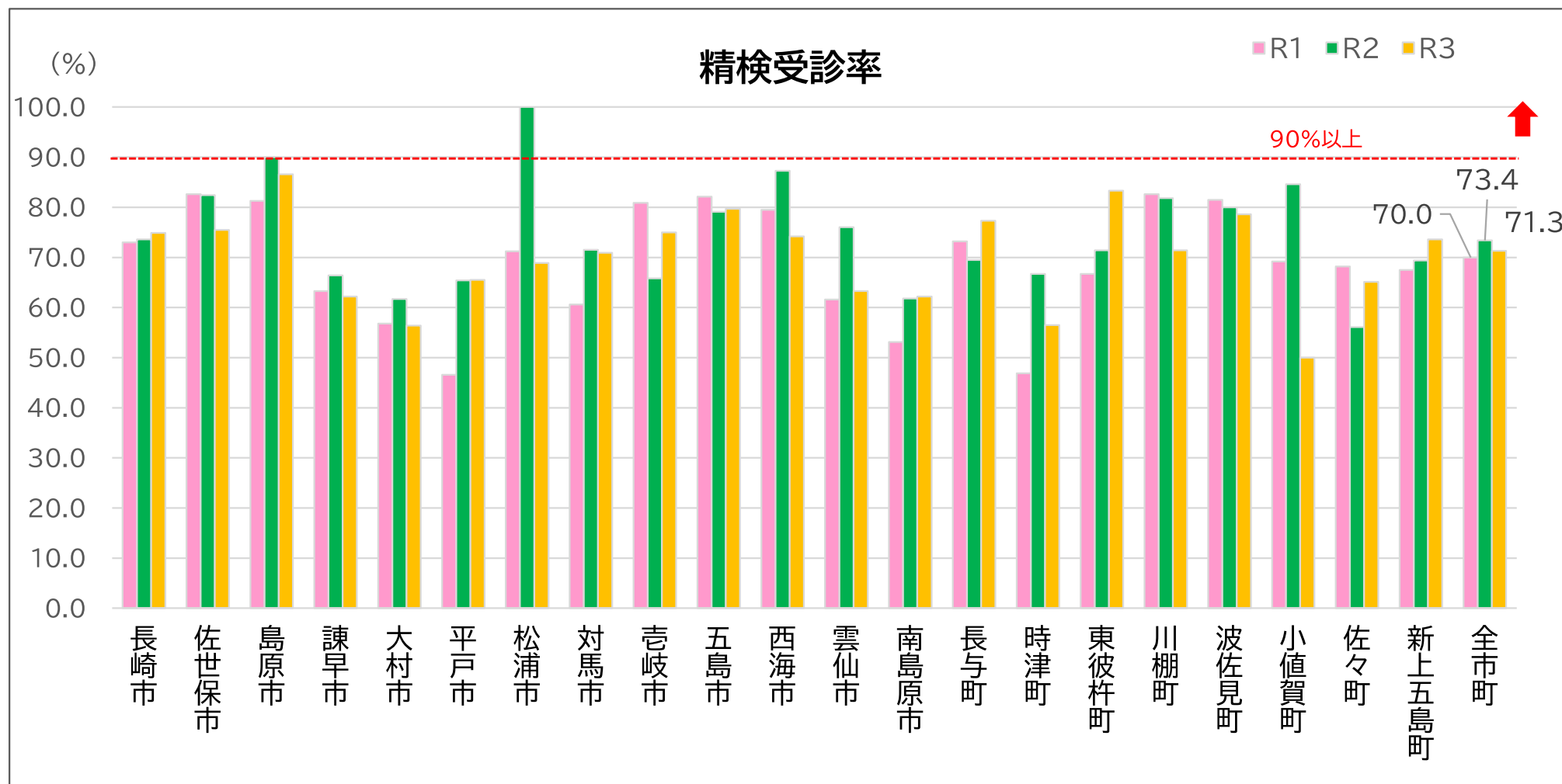
・全ての市町で基準値を満たしていない。県全体では、集団・個別とも基準値を満たしていない。

精検受診率



5) 年度別精検受診率

- R3年度90%以上の市町：なし
- 3年連続増加している市町：長崎市・平戸市・南島原市・東彼杵町・新上五島町
- 3年連続減少している市町：佐世保市・川棚町・波佐見町



6) 令和3年度陽性反応適中度

●がんであった方の数／要精検者数

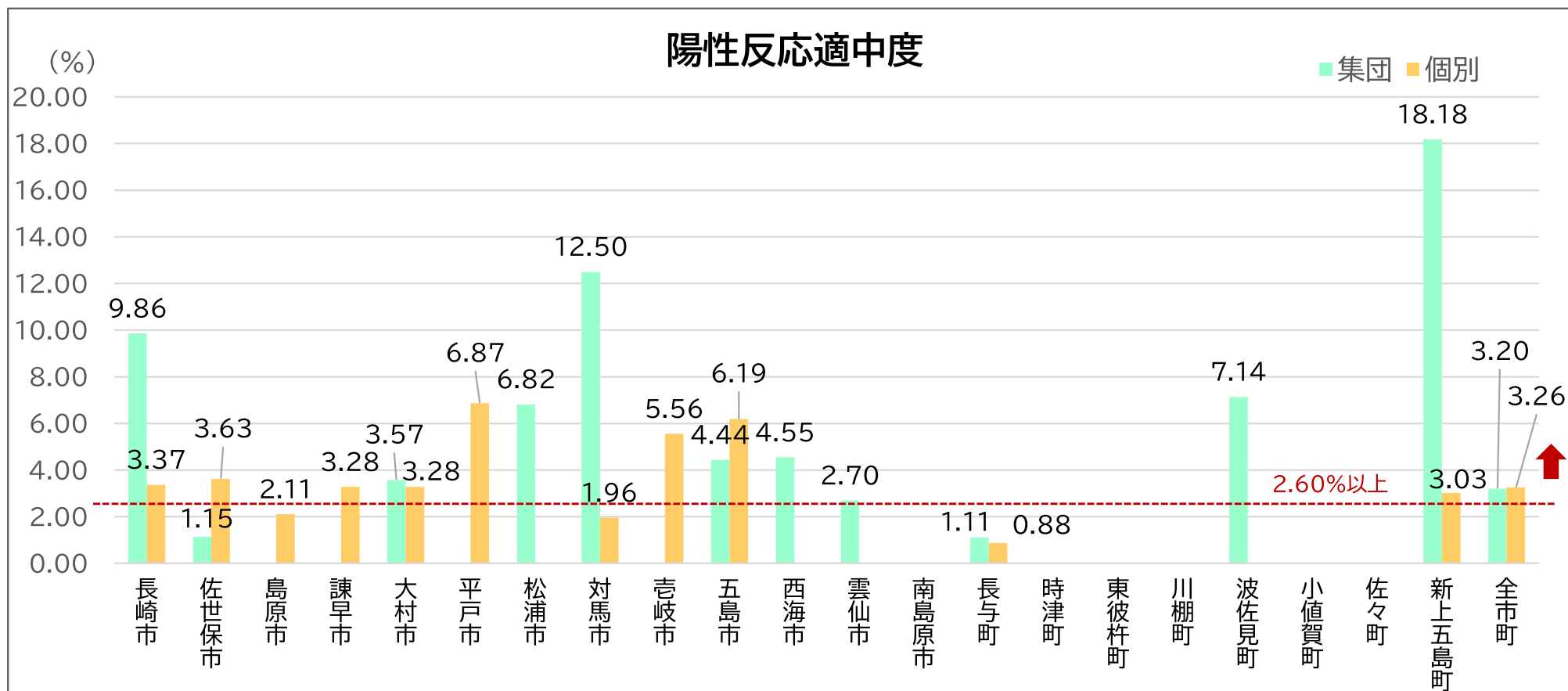
●目的:検診で効率よくがんを発見されたかを測る

●基準値: 2.60 %以上[40-69歳]

・人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。

・県全体では、集団・個別ともに基準値を満たしている。

・大腸がんは、70歳以上での発見数が多く、以下のグラフには反映されていない大腸がんが多くある。



7) 令和3年度がん発見率

●がんであった方の数／検診受診者数

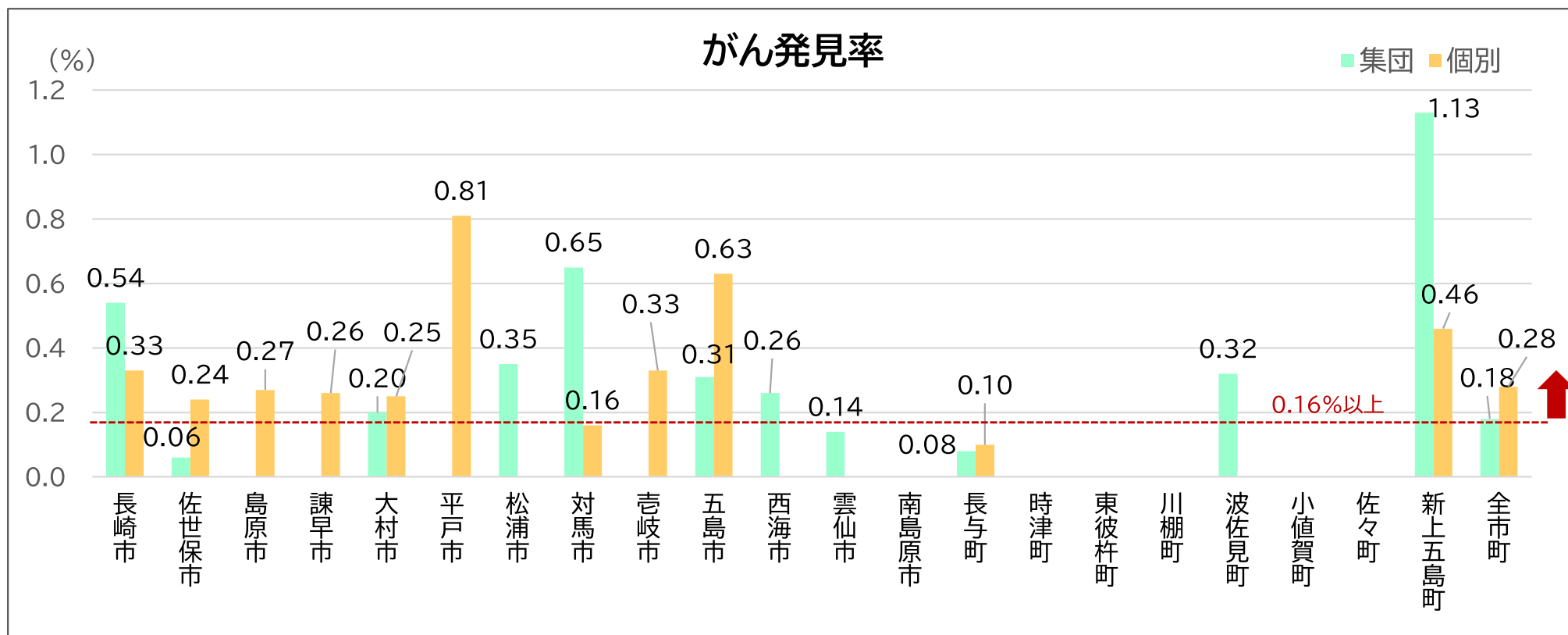
●目的: その検診システムにおいて、適切な頻度でがんを発見できたか

●基準値: 0.16%以上〔40-69歳〕

・人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。

・市町や検診形態によりばらつきがあった。県全体では、集団・個別共に、基準値を満たしている。

・大腸がんは、70歳以上での発見数が多く、以下のグラフには反映されていない大腸がんが多くある。



8) 令和3年度 偶発症

▶ 長崎県では偶発症は確認されていません。

・検診時または検診後

区分	性別	全国		長崎県	
		偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)
集団	男	-	-	-	-
	女	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-
個別	男	-	-	-	-
	女	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-
合計	男	-	-	-	-
	女	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-

・精密検査時または精密検査後

区分	性別	全国		長崎県	
		偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)
集団	男	11	...	-	-
	女	6	...	-	-
	合計	17	...	-	-
個別	男	24	...	-	-
	女	14	...	-	-
	合計	38	...	-	-
合計	男	35	...	-	-
	女	20	...	-	-
	合計	55	...	-	-

6.まとめ

受診率、精検受診率について

- ▶ 受診率で目標値を満たしている市町はなかった。県全体として7.2%であった。

精検受診率は、全ての市町で基準値を満たしていなかった。精検受診率を向上させるためには、精密検査の受診勧奨を行うことに加えて、精検医療機関からの情報を、市町が適切に把握できるよう体制を整えることが必要である。

要精検率について

- ▶ 各市町、検診形態(集団、個別)によりばらつきがあり、個別検診で高い傾向がみられた。県全体としては、集団検診は基準値を満たしていたが、個別検診は基準値を満たしていなかった。

がん発見率、陽性反応適中度について

- ▶ 人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは困難である。
陽性反応適中度・がん発見率ともに、県全体として基準値を満たしていた。
また、70歳以上での発見数が多く、40～69歳の集計には反映されていない大腸がんが多くある。